

【公共事業関係費】

【下水道事業】

(補助事業)

事業名 事業主体	該当 基準	総事業費 (億円)	費用便益分析				貨幣換算が困難な効果等 による評価	再評価の視点 (投資効果等の事業の必要性、 事業の進捗の見込み、コスト縮減等)	対応 方針	
			貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C(億円)					B／C
			便益の内訳及び主な根拠		費用の内訳					
上越処理区大規模雨水 処理施設整備事業 上越市	長期間継続中	59	186	【内訳】 被害軽減期待額：180億円 残存価値：5.5億円 【主な根拠】 年平均浸水軽減面：12.8ha	74	【内訳】 事業費：72億円 維持管理費：1.7億円 用地費：0.0020億円	2.5	・平成18年10月に時間最大91mm/hの豪雨を記録し、床上浸水11戸、床下浸水124戸の被害が発生。また過去22年（H14～R5）の間に、延べ床上浸水61戸、床下浸水411戸が発生している。 ・このため、浸水被害が頻発している地域で早期の解消が必要であり、雨水管渠と雨水ポンプ施設等の整備により概ね7年に1回程度起こりうる降雨に対して、雨水管渠及び雨水ポンプ施設を整備することで浸水被害を防止、軽減する。 ・事業採択後長期間（5年間）が経過した時点で継続中のため、再評価を実施 【投資効果等の事業の必要性】 ・概ね7年に1回程度発生すると考えられる降雨による浸水被害を解消する。 【事業の進捗の見込み】 ・浸水被害防止に向けて雨水管渠整備を進めているが、地質条件等により、想定より事業の進捗が遅れている地区もある。近年の局地的大雨に対し、早期に効果を発現させるため、引き続き事業の進捗を図りたい。 【コスト縮減等】 ・施工方法等を十分に比較検討し、コスト面や施工面等から最適な工法を選択する。	継続	